

保安管理業務の細目及び基準

- 1 電気工作物の点検及び測定試験は、原則として次の各号によるほか別紙2「点検・測定試験基準（月次点検・年次点検・臨時点検）」のとおり行うものとする。
- (1) 月次点検は、設備が運転中の状態において点検及び測定試験を実施するものをいい、別紙2によりその規模に応じ、毎月1回、隔月に1回行うものとする。
- (2) 受託者は、100kVAを超える対象需要設備に低圧電路の絶縁状態の的確な監視が可能な装置（以下、「絶縁監視装置等」という。）を設置した場合においては、月次点検を毎月から隔月にすることができる。
- この場合において、絶縁監視装置等の設置及び保守は受託者が行うものとし、その費用については受託者が負担することとする。
- なお、契約終了時には、現状に復旧しなければならない。
- また、絶縁監視装置等の設置により隔月点検とする場合は、書面にて報告すること。
- (3) 年次点検は、主として停電により設備を停止状態にして点検及び測定試験を実施するものをいい、別紙2により毎年1回行うものとする。
- (4) 外観点検は、次に掲げる項目について目視や測定器具等を用いて異常の有無を判定することを行い、別紙2により行うものとする。
- ア 電気工作物の異音、異臭、損傷、汚損等の有無の確認
- イ 電線と他物との離隔距離の適否の確認
- ウ 機械器具、配線の取付状態及び加熱の有無の確認
- エ 接地線等の保安装置の取付け状態の確認
- (5) 臨時点検は、異常が発生した場合又は発生するおそれがある場合において点検及び測定試験を実施するものをいい、別紙2により必要の都度行うものとする。
- (6) 工事中点検は、別紙4「点検・測定試験基準（工事中点検）」により行うものとする。
- (7) 点検実施日程については、各学校と協議を行ったうえで設定すること。

- 2 次表の点検又は測定試験については、委託者は受託者の意見を聞き、委託者の負担において行うものとする。

電気工作物の種類	点検又は測定試験
取扱いに法令による特定の資格を要する機器又は技術秘密にふれる機器	主開閉器から各機器の1次側電路までの外観点検及び絶縁抵抗試験（実施可能なものに限る）以外の点検及び測定試験
非常用予備発電装置のうち主として原動機及びこれの付属機器	外観点検、観察点検、起動試験、絶縁抵抗試験、接地抵抗試験、継電器試験他各種試験以外の分解点検及び調整
移動して使用する電気機器及びこれに付属する電線	常時、電路に接続して使用されるもの及び点検時に現場に置かれてあるもの以外のものの点検及び測定試験
ネオン、照明塔等の高所にあるもの及びその他点検困難なところにあるもの	点検現場において容易にできるもの以外の点検及び測定試験
密閉防爆機器のように構造上点検ができない機器	外観点検及び絶縁抵抗試験以外の点検及び測定試験

- 3 経済産業大臣が電気事業法第107条第4項に基づいて行う立入検査には、その都度、委託者の通知に基づいて、受託者が保安職員を派遣して立ち会うものとする。